

経 済 統 計 学 会

第 68 回（2024 年度）

全 国 研 究 大 会 プ ロ グ ラ ム

期 間：2024 年 9 月 12 日（木）～ 9 月 13 日（金）

会 場：立命館大学大阪いばらきキャンパス

日 程

研究大会 9 月 12 日（木） 9:00～17:30

9 月 13 日（金） 9:00～15:40

会員総会 9 月 12 日（木） 12:30～13:30

懇 親 会 9 月 12 日（木） 18:00～20:00

理 事 会 9 月 11 日（水） 15:00～17:00

2024 年度 第 68 回全国研究大会実行委員会

実行委員長 田中 力（立命館大学）

委員 栗原 由紀子，坂西 明子，橋本 貴彦

（以上立命館大学），長澤 克重（関西支部）

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150

立命館大学大阪いばらきキャンパス

9月12日（木）

8:40 受付開始（C4F ラウンジ）

9:00 開 会

9:00～11:30 セッションA：宿泊旅行統計調査の利活用と課題

C471（第1会場）

コーディネータ：大井 達雄（立正大学）

座長：伊藤 伸介（中央大学），大井 達雄（立正大学）

1. 菅沼 祐一（野村総合研究所）

宮崎市・鹿児島市における客室稼働率の変動周期の観察：宿泊旅行統計調査より
得られる市区町村別月別データの時系列分析

2. 大井 達雄（立正大学）

宿泊旅行統計調査を使用した探索的空間分析

3. 宮川 幸三（立正大学）

新型コロナウイルスが国内観光に及ぼした影響

4. 伊藤 伸介（中央大学）＊・出島 敬久（上智大学）

宿泊旅行統計調査のマイクロデータを用いた地域属性と宿泊動向の把握

5. 菅 幹雄（法政大学）

延べ宿泊者数と売上（収入）金額の関係について

＊印は発表者（以下同じ）

9:00～11:30 セッションB：日本の統計史を考える

C472（第2会場）

コーディネータ・座長：小林 良行（東北・関東支部）

1. 上藤 一郎（静岡大学）

Karl Rathgen と日本の統計学

2. 森 博美（東北・関東支部）

明治41年東京市勢調査と調査員問題

3. 伊良皆 千夏（関東学園大学）

琉球政府による統計調査の特質：工業統計調査を事例として

4. 山口 幸三（京都大学学術情報メディアセンター）

労働力調査における調査票の変更について

5. 小林 良行（東北・関東支部）

情報システム化による製表事務形態の変化：1990年代以降に注目して

11:30～12:30 昼休み

12:30～13:20 会員総会

B3F コロキアム（統一会場）

13:30～14:50 セッションC（共通論題）：社会科学としての統計学の現代的課題と役割：『統計学』創刊70周年記念事業に向けて

B3F コロキアム（統一会場）

本部企画コーディネータ：水野谷 武志（北海学園大学）

座長：金子 治平（大阪経済法科大学）

1. 上藤 一郎（静岡大学）

社会科学としての統計学の70年

2. 田中 力（立命館大学）

蜷川統計学における統計解析論再考

3. 池田 伸（立命館大学）

推計学批判と有意性検定論

15:00～17:30 セッションD：自由論題（1）

C471（第1会場）

座長：長澤 克重（関西支部）

1. 大西 広（慶應大学）

100年後の日本人口：国立人口研予測への一つの代案

2. 倉田 知秋（環太平洋大学）・則竹 悟宇（立教大学）・櫻本 健（立教大学）

2015年産業連関表に基づくエネルギー及び輸入製品価格の上昇による生産者価格への影響

3. 西内 亜紀（統計情報研究開発センター）・新井 郁子（統計情報研究開発センター）・草薙 信照（大阪経済大学）

関西国際空港と中部国際空港の立地がもたらした人口・産業・地価の変化：2次メッシュデータに基づく広域的な分析

4. 赤木 茅（千葉商科大学）

統計推計プロセスの透明化・デジタル化とその課題

15:00～17:30 セッションE：自由論題（2）

C472（第2会場）

座長：御園 謙吉（阪南大学）

1. 朝倉 啓一郎（流通経済大学）

複数年歳出予算の編成過程におけるインフレーションの取り扱いについて

2. 鈴木 雄大（北海学園大学）

生活扶助相当CPIを用いたデフレ調整における始期の妥当性の検証

3. 木下 英雄（関西支部）

社会階層別または貧富別階層別の一票価値

4. 伊藤 陽一（東北・関東支部）

「ビジネスと人権」活動と統計

15:00～17:30 セッションF：労働・生活・福祉問題と統計

B3F コロキアム

コーディネータ：水野谷 武志（北海学園大学），座長：平井 太規（愛知大学）

1. 村上 雅俊（阪南大学）

母子世帯ワーキングプアの検討：2017年『就業構造基本調査』匿名データから

2. 水野谷 武志（北海学園大学）

日本の過長労働時間統計による正規雇用労働者の長時間労働問題への接近

3. 坂西 明子（立命館大学）

共働き夫婦の住宅立地の分析

4. 小野寺 剛（九州国際大学）

非正規雇用から生じる雇用創出と賃金損失の効果に関する性別・企業規模別考察

18:00～20:00 懇親会

B1F レストラン GARDEN TERRACE LION

9月13日（金）

9:00～11:30 セッションG：自由論題（3）

C471（第1会場）

座長：坂西 明子（立命館大学）

1. 坂田 幸繁（中央大学）＊・栗原 由紀子（立命館大学）
調査項目をめぐる抽出割り当て方式に関する考察：項目サンプリング法から調査票分割デザイン方式へ
2. 栗原 由紀子（立命館大学）
調査票分割デザインにおける相関特性の効果検証
3. 伊藤 伸介（中央大学）
センサスデータにおける差分プライバシーの適用と生態学的誤謬に関する一考察
4. 高部 勲（立正大学）
連合学習の手法を活用した公的統計データ・行政記録等に基づく計量モデルの推定
5. 高橋 将宜（長崎大学）
因果推論・予測・記述・探索を目的とした重回帰モデル：共通点と相違点

9:00～11:30 セッションH：産業連関分析と経済社会

C472（第2会場）

コーディネータ・座長：橋本 貴彦（立命館大学）

1. 鐘 嘉許（横浜国立大学院）＊・居城 琢（横浜国立大学）
中国化学繊維産業拡張産業連関表の作成及び化学繊維産業と織物・アパレル産業のサプライチェーン分析
2. HUANG YUXIANG（立命館大学院）
グローバル・バリューチェーンにおけるイギリスのブレグジット後の変容：国際産業連関表に基づく分析
3. 田添 篤史（三重短期大学）
日本社会の再生産可能性に関する検討
4. 泉弘志（関西支部）＊・戴艶娟（広東外語外貿大学）
近年の各国剰余価値率の計測：EORA 国際産業連関表を使用して
5. 橋本 貴彦（立命館大学）
多国間産業連関を活用した南海トラフ巨大地震等による被害回復のための計量分析

11:30～12:30 昼休み

12:30～15:30 セッションI：国民経済計算及び国際収支統計に関する課題

C471（第1会場）

コーディネータ・座長：櫻本 健（立教大学）

1. 河野 陽介（内閣府経済社会総合研究所）

データの資本としての記録について：2025SNA（仮称）対応を見据えた国民経済計算におけるフロー及びストック試算の結果

2. 佐藤 嘉子（日本銀行調査統計局）

2025SNAに向けたデジタル資産の扱いに関する論点：暗号資産を中心に

3. 武田 英俊（日本大学）

マクロ経済統計における暗号資産の扱い：フォローアップ

4. 萩野 覚（麗澤大学）

マーケティング活動の資本化に係る議論

5. 石田 進（立教大学院）

クラウド分野をカバーする産業連関表の推計

6. 櫻本 健（立教大学）

デジタル化に伴う産業分類と生産統計に与える影響

12:30～13:30 セッションJ：地域の諸課題と調査・統計分析

C472（第2会場）

コーディネータ・座長：菊地 進（東北・関東支部）

1. 菅沼 祐一（野村総合研究所）

東京都をケースとした月別の死亡数の平年値の推計：1月の死亡数増加の組み込み方法の研究

2. 芦谷 恒憲（兵庫県立大）

兵庫県におけるサテライト勘定の推計と利用：環境、観光、文化・スポーツ勘定の試算

13:40～15:40 セッションK：ジェンダー平等と統計

C472（第2会場）

コーディネータ：杉橋 やよい（専修大学），座長：橋本 貴彦（立命館大学）

1. 高橋 雅夫（長野大学）

夫婦の年齢差が夫の家事分担に与える影響分析

2. 武内 真美子（愛知学院大学）

就労世代の既婚カップルの疾病と就業に関する実証分析

3. 伊藤 陽一（東北・関東支部）

世界銀行の「女性・ビジネス・法律」指数2.0の紹介と検討

4. 杉橋 やよい（専修大学）

イギリス政府統計における性的マイノリティの調査項目の検討

お知らせとお願い

1. 研究大会と懇親会にかかわる同封の返信はがきは、2024年8月5日（月）までに、ご返送願います。また、理事の方は、理事会への出欠についても併せてご回答ください。
2. 研究大会の参加費（含報告要旨集）は、正・団体会員：2,000円、院生会員等：1,000円、非会員3,000円です。懇親会費は5,000円（院生会員等：2,000円）です。なお、これら金額は予定です。事情により変動することがありますので、その際はご容赦ください。
3. 報告者の方は、別途お知らせする要領で「報告要旨集」の原稿の送付をお願いします。8月2日（金）までに原稿のご提出をお願いします。
4. 会場配布資料は、紙の場合は各自ご持参いただき、それぞれのセッション会場で係員にお渡しください。事前の郵送等には対応していません。試行的にオンラインでの配布を可能とする予定です。当日までにご案内させていただきます。
5. 報告時間は質疑を含め1報告につき30分を原則です。ただし、各セッションで報告時間の配分・運用・形式が異なることがあります。実際の報告時刻・時間は各セッションのコーディネータまたは座長によるご案内にしたがってください。
会場ではPowerPointが利用可能です。報告者は、セッション開始前に会場PCにファイル（ウィルス対策チェック済のもの）をコピーできるよう係員にご提供ください。
学内でのwi-fiは学術機関共通のeduroamが利用可能です。ご所属により利用できない場合があります。利用法については次などを参考にしてください。
<https://it.support.ritsumei.ac.jp/hc/ja>
6. 会場では食事はできませんが、蓋付き容器で飲料を摂取することは可能です。暑中につき水分補給にご注意ください。自動販売機等が利用可能です。ラウンジおよびC473は休憩や準備のためにご利用ください。ただし、茶菓等のサービスはなく飲食は認められていません。また、大声での談話はご遠慮ください。大会期間中の昼食については、当日案内させていただきます。基本的に学内外の施設が利用可能です。
7. 理事会を下記の要領で開催します。理事の方はご参集ください。
日時：9月11日（水）15:00～17:00
会場：立命館大阪いばらきキャンパス B4F B411 研究会室
8. 宿泊については各自で御手配ください。早めのご予約をお勧めします。
9. 学会大会開催にあたり、追加のお知らせや不測の事態による予定の変更などの場合は、学会ホームページや支部メーリングリストなどにてお知らせしますので、ご注意ください。また、ご不明は下記のプログラム委員会までお問い合わせください。

経済統計学会第68回全国研究大会プログラム委員会

委員長	池田 伸（関西支部）
副委員長	村上 雅俊（関西支部）
委員	鈴木 雄大（北海道支部）、伊藤 伸介（東北・関東支部）
	高橋 雅夫（東北・関東支部）、高橋 将宜（九州支部）

大会会場アクセスマップ

立命館大学大阪いばらきキャンパス



図の右下側から右方向に JR「茨木駅」との通路です。図の左上側が左方向に阪急「南茨木駅」との通路となるモノレール高架下の道です。接近すると校舎が見えます。

会場は図の中央の C 棟と B 棟とです。両者は渡り廊下で繋がっています。上階との往来は B 棟のエレベータ等をご利用ください（C 棟にはなく A 棟のものは学生と共用です）。

B 棟 1F にライオンやスターバックス, C 棟 1F にカフェテリア, A 棟 1F にラーメン店やセブンイレブンがあり, 右上線路向側にイオンモールがあります（線路下通路の出入口は右下側）。

交通アクセス・最寄駅

- ・新幹線）JR 西「茨木駅」より徒歩 5 分
- ・阪急「南茨木駅」から徒歩約 10 分
- ・伊丹空港）大阪モノレール「宇野辺駅」から徒歩約 10 分（または「南茨木駅」）

参考資料

キャンパスマップ

<https://www.ritsumei.ac.jp/campusmap/#oic>

OIC フロアガイド

<https://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=229844&f=.pdf>